

GERGONNE & PYLOTE社 : COVID-19の原因となるSARS-CoV2ウイルスに対する 同社の抗菌フィルム【COVERSAFE™】の有効性を確認

PYLOTE社の抗菌テクノロジーにより1時間で96%の細菌・ウイルスが不活性化

2021年1月7日 フランス : Toulouse (トゥールーズ) / Oyonnax (オヨナ) - 鋳物およびセラミック工業化学のスペシャリストであるPYLOTE社、テクニカル粘着テープの製造・加工を行うGERGONNE INDUSTRIEは、2020年6月から市場に投入している抗菌保護フィルム「COVERSAFE™」の効果について、新たに有意義な試験を実施したことを発表します。

SARS-COV-2テスト : COVERSAFE™ との接触後1時間で96%が不活性化

ヒトコロナウイルスSARS-CoV2に対するCOVERSAFE™ フィルムの有効性試験は、リモージュ大学ウイルス学部 (Laboratory RESINFIT LIMR Inserm 1092 & Microbiology Laboratory, CBRS, CHU of Limoges認定COFRAC) 内で、ISO21702に規定された方法論に従って実施されました。

テストは、PYLOTE社の抗菌テクノロジーが施されたCOVERSAFE™ フィルムの表面と、こうしたテクノロジーが施されていない同素材のフィルム表面に生じる反応の違いを比較する方法で行われました。その結果、COVERSAFE™ フィルムが、ヒトコロナウイルスSARS-CoV2株BASAとの接触1時間後には、1.42logの対数ウイルス量を減少させ (すなわち、当ウイルスの96%を不活性化させ)、また、10日間の培養に対してもその有効性を持続させること (フィルム表面上において、ヒトコロナウイルスSARS-CoV2は増殖できないこと) を確認しました。

なお、以上の結果は、COVERSAFE™ フィルムの表面に、通常の使用状態を超えるいわゆる「Dirty hands conditions (汚れた手の状態)」と呼ばれる極端な使用状態 (油分、自発的な汚れなど) を意図的に再現した環境で得られたものです。

BUREAU VERITAS *が実施したCOVERSAFE™ を実際に使用する環境でのテスト : COVERSAFE™は、微生物による感染蔓延防止と汚染に対して有効

※ビューローベリタス : フランス・パリ近郊のヌイ=シュル=セヌに本拠を置き、試験、検査および認証を行う企業。
認証企業として、SGS と共に世界有数の規模を持つ。

COVERSAFE™ フィルムは、フランスのNantua(ナントウア)にあるXavier Bichat高校 (生徒数 : 600人) を対象に、実際の使用条件下 (現場) でもテストを行いました。COVERSAFE™ 抗菌保護フィルムを使用した箇所 (COVERSAFE™ フィルムの表面) と使用しない箇所の素材面の微生物の汚染率を評価することを目的とし、試験サンプルは、学校の正面玄関 (毎日数百人が使用) とケータリングセルフサービスエリアのテーブルに貼られ、そこから採取されました。

その結果、COVERSAFE™ フィルムには、感染や汚染リスクを大幅に低減できる非常に明確な有効性があることが実証されました。

- 高校の正面玄関 (内部) : 存在する全細菌叢(フローラ) を3で割った値
- 自炊テーブル (内部) : 存在する全細菌叢(フローラ) を4で割った値
- 高校の正面玄関 (外部) : 存在する全細菌叢(フローラ) を2で割った値

COVERSAFE™ フィルムの表面は、総フローラ数の最大目標値である 50CFU/25cm² (バイオクリーニングガイドより) よりも低い値を示しましたが、COVERSAFE™ フィルムを使用しない箇所において、この値を満たすのは33%に過ぎませんでした。

このように完全に独立した第三者検査機関により得られた結果は、(非常に多くの人々が利用する) 実際の過酷な条件下においても、COVERSAFE™ フィルムが、その性能を発揮することを証明しています。

COVERSAFE™について- COVERSAFE™抗菌接着フィルムの主な特性は、このフィルムで覆われている間はフィルム表面に微生物学的衛生状態が維持されることです。幼児を含むすべてのユーザーにとって安全です。PYLOTEテクノロジーは、特にウイルスやバクテリアに対して即時的、安定的、永続的な除去（不活性化）作用を発揮し（少なくとも4年間、その効果が失われないことが確認されています）、COVID-19や他の感染症の蔓延を防ぐのに役立ちます。2020年6月以来、COVERSAFE™は、すでに、25か国以上で、1,000を超える企業、事業所、地方自治体、学校/大学で利用されています。

PYLOTEテクノロジーについて- PYLOTE社の画期的な技術革新は、天然ミネラル微粒子を接着フィルムや塗料などの材料と混合して一体化させることにあります。公共の場所やオフィステーブルなどに貼られたCOVERSAFE™ フィルムに付着した微生物は、この天然ミネラル微粒子の働きにより破壊（不活性化）されます。この非金属ミネラル微粒子は、フィルム表面の微生物汚染を除去（不活性化）する触媒として機能し、微生物汚染に対する継続的かつ安定した保護作用を発揮し、ライフサイクル全体で非常に高いレベルの安全性、有効性、衛生状態を維持します。10年間の開発期間中、PYLOTE社のこの技術の有効性は、食品産業、健康、産業、化粧品などの用途に特化した非常に幅広い微生物に対してテストされてきました。

PYLOTE社について- 2009年に設立され、フランスのToulouse（トゥールーズ）に本拠地を置くPYLOTE社は、クリーンテクノロジー産業の鉱物・セラミック化学の分野で重要な役割を果たしており、その画期的な技術と持続可能なイノベーションによって世界で評価されています。PYLOTE社は、安全性、衛生性、持続可能性に関して消費者が直面する問題を解決するために、プロセスからアプリケーションまで特許を取得した独自の自然保護ソリューションを開発、製造、販売しています。PYLOTE社は、市場での差別化に焦点を当てることで、製薬、化粧品、食品、工業市場の顧客に対して、規制、マーケティング、工業的ステップをサポートし、現在の製造プロセスに投資や変更を加えることなく、強力な価値提案を付して短期間で市場に製品を送り出します。2016年以降、FDA、化粧品、医薬品、食品、国際的な規制に準拠し、“食品接触”という高度の安全性が承認されているPYLOTE社のイノベーションは、Pharmapack Award, CPhI Pharma Award, the Oscar of Packaging for Food Applications, Trophy of CSR Solutions, Make Up in New York Tree Innovation Awardなど、国際的な賞を繰り返し受賞しています。PYLOTE社についての詳細は、当社ウェブサイト（www.pylote.com）をご覧ください。



GERGONNEについて： GERGONNE社は、1962年にプラスチック・パレーの中心地であるフランスのOyonnax（オナ）に設立された独立系企業グループで、粘着テープの製造や、柔軟な素材を使った自己粘着性のある型抜き部品の製造において、ヨーロッパのリーダー的存在です。技術革新と価値創造に重点を置き、GERGONNE社は自動車、電子機器、医療、建築、産業の各分野で自己粘着性ソリューションを販売しています。GERGONNE社は、フランスで130名、子会社（メキシコ、中国、スロバキア、スペイン、モロッコ）を通じて世界で400名の従業員を雇用しています。GERGONNE社とその企業価値についての詳細は、以下のウェブサイトをご覧ください。（www.gergonne.com、www.gergonne-corporate.com）



プレス窓口

PYLOTE: Jean-Christophe Huertas (+336 16 99 47 05) – jean-christophe.huertas@h2dadvisory.com

GERGONNE: Marion Favre (+334 74 73 39 44) – m.favre@gergonne.com

本プレスリリースは、GERGONNE社のプレスリリースの日本語訳であり、COVID-19やコロナウイルス感染予防に対する有効性を示すものではありません。